



イオンクレジットサービス株式会社

2005年2月期 決算説明会

本資料のうち、当社の将来的な経営戦略や営業方針、業績予測等にかかわるものは、いずれも現時点において当社が把握している情報に基づいて想定、算出されたものであり、経済動向、業界での激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでおります。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があります。

(1) 連結経営成績

	実績	前期比	公表数値
取 扱 高	1兆8,849億円	115.0%	1兆8,770億円
営 業 収 益	1,228億円	112.3%	1,220億円
カードショッピング	255億円	121.7%	—
カードキャッシング	753億円	113.2%	—
営 業 利 益	349億円	114.6%	346億円
経 常 利 益	350億円	114.9%	347億円
当 期 純 利 益	186億円	115.5%	186億円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	356円10銭	47円86銭増	354円54銭

(2) 連結財政状態

	2004年2月期	2005年2月期
総 資 産 (流動化含む)	4,657億円 (5,448億円)	5,620億円 (6,310億円)
割 賦 売 掛 金 (流動化含む)	1,178億円 (1,790億円)	1,580億円 (2,098億円)
営 業 貸 付 金 (流動化含む)	3,042億円 (3,222億円)	3,550億円 (3,755億円)
株 主 資 本	1,016億円	1,174億円
株 主 資 本 比 率 (流動化含む)	21.8% (18.7%)	20.9% (18.5%)
1株当り株主資本	1,943円09銭	2,244円93銭

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	2005年2月期
現金 及び 現金同等物の期首残高	159億19百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	△686億68百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58億22百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	752億73百万円
現金 及び 現金同等物の期末残高	166億85百万円
現金 及び 現金同等物の増加額	7億65百万円

(1) 単独の経営成績

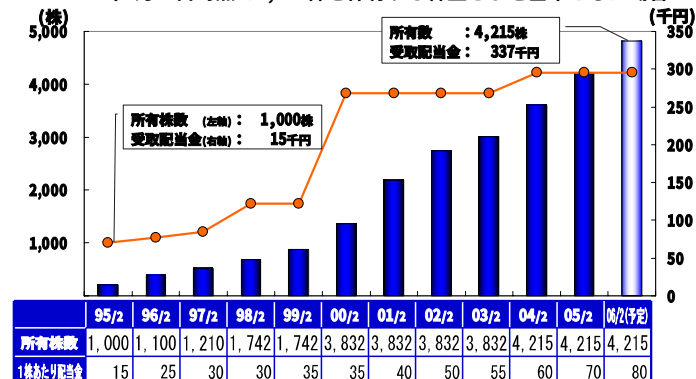
	実績	前期比	公表数値
取 扱 高	1兆6,958億円	114.0%	1兆6,900億円
営 業 収 益	946億円	114.0%	945億円
カードショッピング	222億円	122.9%	—
カードキャッシング	651億円	115.5%	—
営 業 利 益	285億円	111.9%	285億円
経 常 利 益	292億円	111.9%	292億円
当 期 純 利 益	169億円	113.7%	166億円
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	322円25銭	38円86銭増	316円47銭

(2) 配当状況

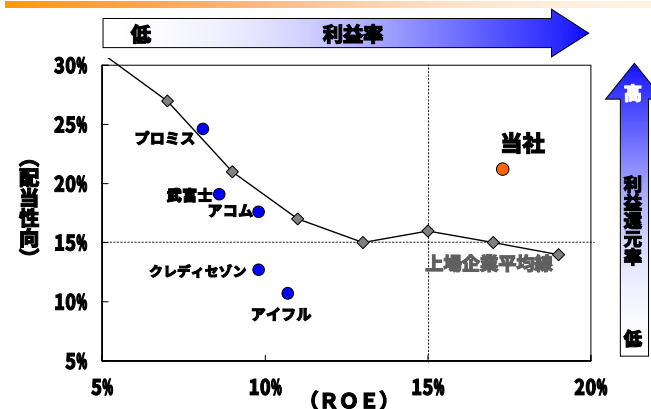
	2004年2月期 配当実績	2005年2月期 配当実績	2006年2月期 配当予定
中 間 配 当 金	25円	30円	35円
期 末 配 当 金	35円	40円 (予定)	45円
年 間 配 当 金 合 計	60円	70円 (予定)	80円
配 当 性 向	21.2%	21.7%	22.6%

無償分割と受取配当金の推移

■ 1995年2月20日時点で1,000株を保有する株主さまを基準とした場合



配当性向・ROEの状況



※ 他社は04年3月期数値を元に算出しております。
 ※ 上場企業平均はTOP1X構成銘柄平均値 (出所: 生保協会)
 ※ 半端決算の数値で算出しております。

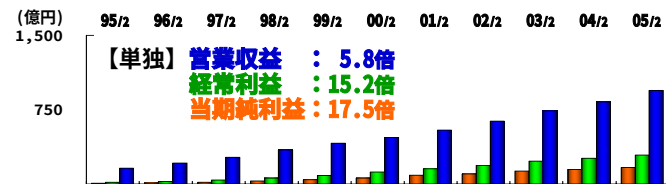
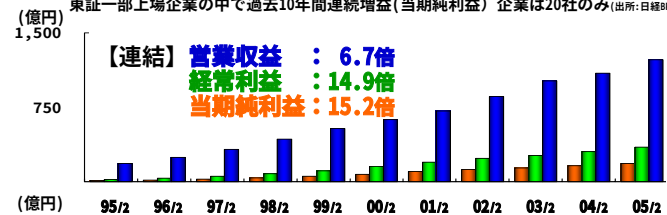
(3) 財政状態

	2004年2月期	2005年2月期
総資産 (流動化含む)	3,804億円 (4,439億円)	4,587億円 (5,067億円)
割賦売掛金 (流動化含む)	848億円 (1,383億円)	1,171億円 (1,584億円)
営業貸付金 (流動化含む)	2,571億円 (2,671億円)	2,980億円 (3,080億円)
株主資本	922億円	1,063億円
株主資本比率 (流動化含む)	24.2% (20.8%)	23.2% (20.8%)
1株当たり株主資本	1,762円92銭	2,031円89銭

株式公開から10年の歩み

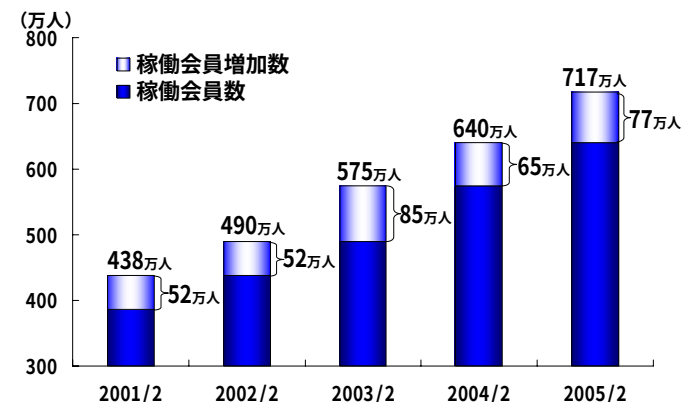
■ 株式公開以来、連結・単独業績とも増収増益を継続中

東証一部上場企業の中で過去10年間連続増益(当期純利益) 企業は20社のみ(出所:日経BP社)

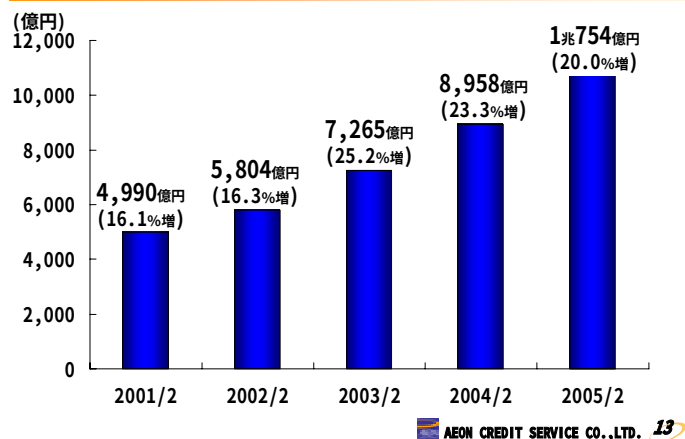


2005年2月期 営業概況

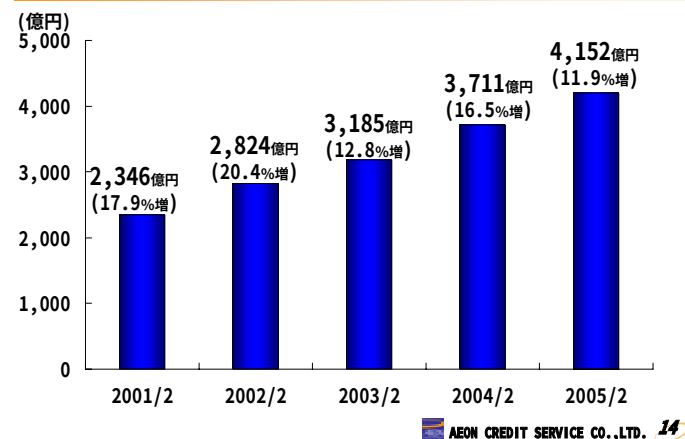
稼働会員の推移 (単独)



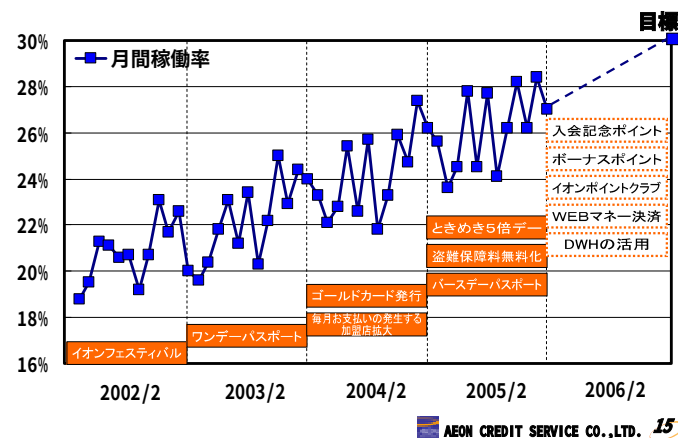
カードショッピング取扱高の推移(単独)



カードキャッシング取扱高の推移(単独)

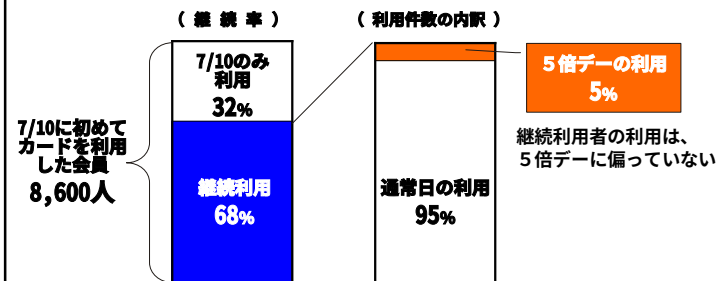


カード稼働率向上への取り組み



ときめきポイント5倍デーの効果

- 延べ8日間の5倍デーにより、休眠会員8万人が稼動
- 7/10のときめきポイント5倍デーに初めてカードを利用した会員(8,600人)の2月10日までの利用動向を追跡



ゴールドカードの効果

■ ゴールド会員数が拡大

	2004/2	2005/2	差異
会 員 数	6万人	19万人	13万人増

■ ゴールドカード会員は、高額の利用を継続

2003年度100万円以上利用会員の2004年度利用状況を比較

(利用金額別の会員構成比)

年間利用金額	イオンカード会員	ゴールドカード会員	差異
150万円以上	19.9%	35.1%	15.2%
100～150万円	39.0%	36.9%	△2.1%
継続利用率	58.9%	72.0%	13.1%

ETCカードの効果

■ 7月度より年会費の無料化を実施。会員数が大きく拡大

	2004/2	2005/2	差異
会 員 数	2万人	21万人	19万人増

■ ETCカード会員は、稼働率・利用件数が高い

	一 般 会 員	ETC会員	差異
月間平均 稼働率	26.4%	40.8%	14.4%
月間平均 利用件数	4.8件	8.2件	3.4件
月間平均 利用額	2万5千円	4万5千円	2万円

バースデーパスポートの効果

■ 概 要：会員さまの誕生月のお好きな日に、ご優待割引が受けられるパスポート

■ 提携先企業へ水平展開

- ・イオン株式会社 (2004年 7月度より実施)

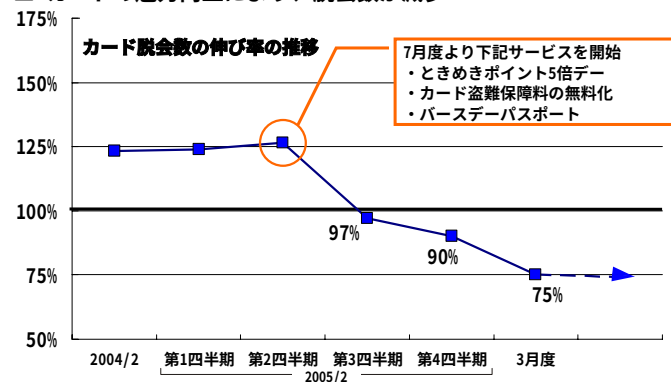
<2004年7月度～2005年2月度までの利用状況>

月間平均稼働率	バースデーパスポート利用率	差異
26.4%	47.3%	20.9%

- ・マイカル株式会社 (2004年 9月度より実施)
- ・カスミ株式会社 (2004年12月度より実施)

脱会数の減少

■ カードの魅力向上により、脱会数が減少

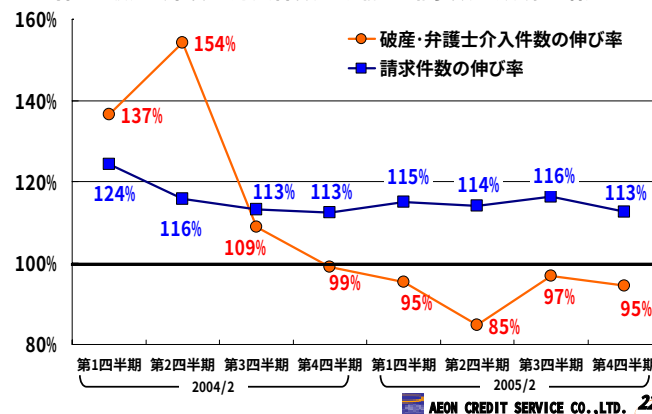


お客さまに支持されるカードへ

『週刊ダイヤモンド』 (2004年9月11日号) 女性のメインカード				『日経流通新聞』 (2005年1月19日掲載) 所有しているカード				『週刊ダイヤモンド』 (2005年3月5日号) 女性を選ぶ顧客満足度(企業)				
1位	J	C	B	1位	J	C	B	1位	イオンクレジットサービス			
2位	クレディセゾン			2位	クレディセゾン			2位	クレディセゾン			
3位	三井住友カード			3位	三井住友カード			3位	三井住友カード			
4位	イオンクレジットサービス			4位	イオンクレジットサービス			4位	J	C	B	
5位	オーエムシーカード			5位	日本信販			5位	D C カード			

当社の破産・弁護士介入件数の伸び率

■ 当社の破産・弁護士介入件数は沈静、請求数は順調に増加



貸倒引当金の状況

【貸倒引当金】

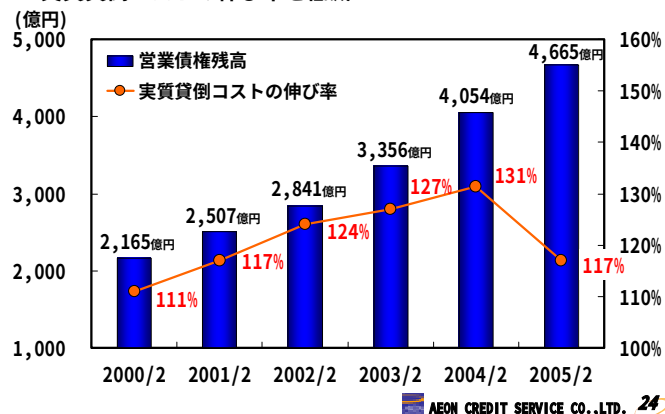
	2004年2月期	2005年2月期
期首貸倒引当金	75億円	105億円
期中引当繰入額	150億円	186億円
貸倒償却額	119億円	130億円
期末貸倒引当金	105億円	162億円
営業債権残高比	2.61%	3.47%

【貸倒引当金の内訳】

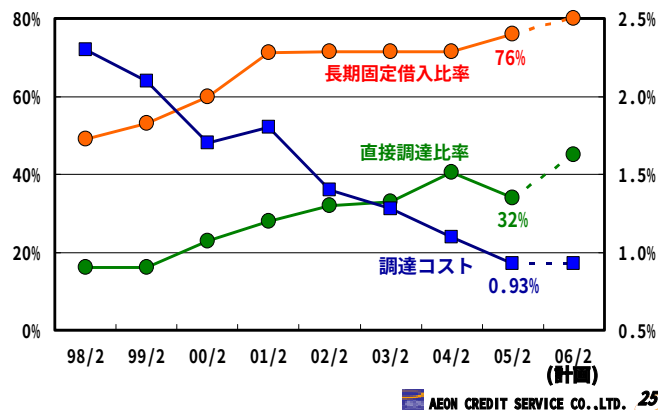
	2005年2月期
個人破産	全額償却済
延滞3ヶ月以上債権 及び 弁護士介入債権	116億円
一般引当金	46億円
合計	162億円

実質貸倒コストの状況

■ 実質貸倒コストの伸び率を低減



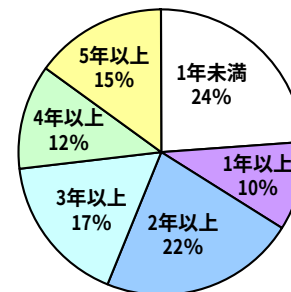
資金調達状況



資金調達状況

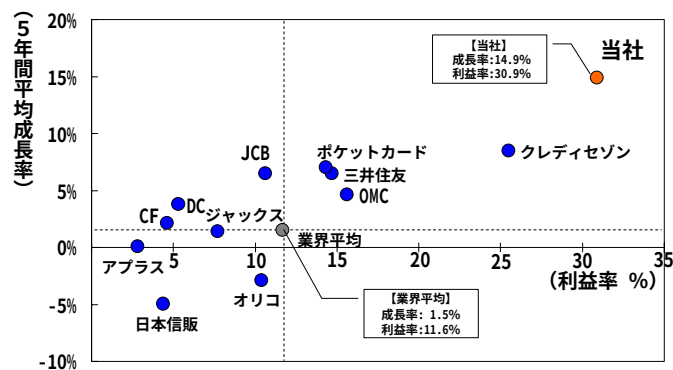
長期固定借入比率：71.5%から76.0%に

< デュレーション構成比 >



AEON CREDIT SERVICE CO.,LTD. 26

成長率・利益率を軸とした位置付け



※ 各社数値は、月刊消費者信用データ等をもと当社が算出した数値を使用

① 5年間平均成長率は2000/3～2004/3までの5年間平均の営業収益増減率(当社は、2001/2～2005/2で算出)

② 利益率は2004/3の営業利益/営業収益により算出(当社は、2005/2で算出)

AEON CREDIT SERVICE CO.,LTD. 27

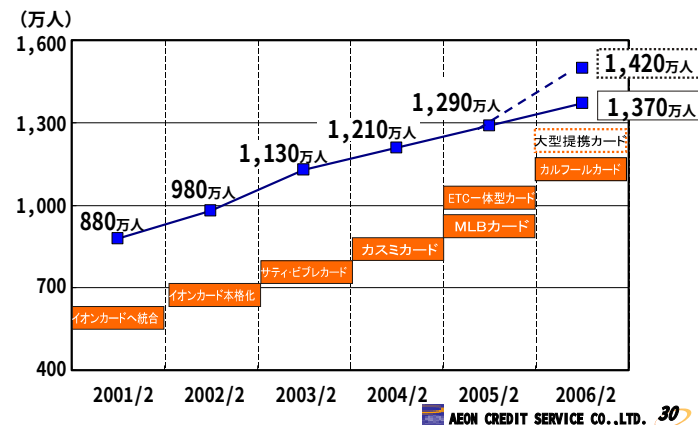
S & P 信用格付け

	信用格付け
当社	A -
日立キャピタル	A -
アコム	B B B +
オリックス	B B B +
クレディセゾン	B B B +
プロミス	B B B +
アイフル	B B B

AEON CREDIT SERVICE CO.,LTD. 28

2006年2月期 重点実施事項

カード会員数の拡大



カード発行プロセスの刷新

会員募集

- ・口座振替自動設定端末『INFOX』を500台から1,000台に倍増、提携先金融機関の拡大
- ・コンビニ入金を活用した、『持参払いカード』の発行

審査プロセス

- ・『ディシジョンアクセラレータ』
- ・『ドクターベルマックス』
- ・『戦略的初期与信モデル』の開発

会員獲得目標
230万人

カード発行プロセス

- ・『ICチップ対応型カード発行機』への切り替え
- ・カード発行の『プロセス管理システム』の開発

データウェアハウスの活用

■ 会員情報と詳細なPOS情報の連携が可能

< 従 来 >

イオンカードご利用明細書		
会員番号 XXXX-XXXX-XXXX-XXXX		
利用日	利用店舗	利用額
3月3日	ジャスコ南砂店	食品 7,550円

< 現 在 >

AEON ジャスコ南砂店 レシート	
2005年3月3日(木) 16:30	
コシヒカリ(無農薬栽培)	¥7,000
低脂肪ヨーグルト	¥250
レタス(有機栽培)	¥300
会員番号 XXXX-XXXX-XXXX-XXXX	

■ 現在、POS情報の蓄積が進行中

2005年度中に、イオン(株)のGMS全260店舗に導入予定

	2004年度	2005年度
対象店舗数	20店舗	260店舗
蓄積POS情報/毎月	約1,000万点	約1億3,000万点
蓄積レシート数/毎月	約100万枚	約1,300万枚

※GMSでの取扱アイテム数:270万点

ポイント制度の充実による稼働率向上

■ カードの魅力向上により、稼働率が向上

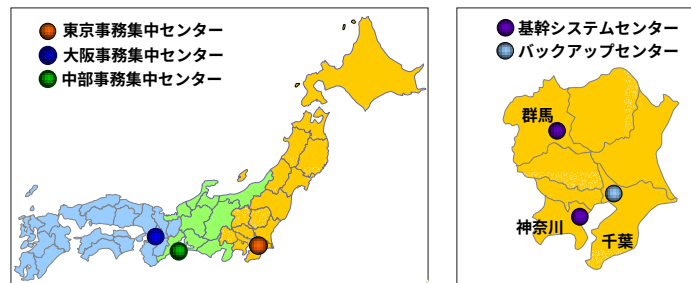
	2002/2	2003/2	2004/2	2005/2
有効会員数	980万人	1,130万人	1,210万人	1,290万人
年間稼働会員数	490万人	575万人	640万人	717万人
年間稼働率	52.7%	54.5%	54.7%	57.4%

■ ポイント制度の充実に向けた取り組み(2006年2月期)

- ・『入会ポイント』を全カードへ水平展開
- ・『ボーナスポイント制度』の導入
- ・『イオンポイントクラブ』の開始
- ・ときめきポイントの『Webマネー決済サービス』の導入

危機管理体制の強化

- 事務集中センター3拠点体制の完成
- 基幹システムのバックアップセンター開設
- 『移動ATM』の開発



個人情報保護の取り組み

	これまでの取り組み
2003/2	コンプライアンス・プログラムの策定 品質ISO9001の認証取得
2004/2	個人情報安全管理委員会の設置 プライバシーマーク(JISQ15001)の認証取得 データマネジメントセンターの開設 個人情報保護室の設置
2005/2	管理者の利用状況を監視するSWATシステム導入 JIPDECの策定したI SMS(Ver.2.0)の認証取得 TRUSTe<Web>の認証取得
2006/2 実施事項	TRUSTe<携帯>の認証取得(4月) 国内子会社におけるプライバシーマークの取得(4月) 静脈認証システムの全事業所展開

保険代理店事業(NCS興産)

■ 2005年2月期 営業概要

- ・保険シミュレーションツール『おすすめ保険ナビ』導入
- ・Webサイトを活用した『証券仲介業』の開始

営業収益	前期比	経常利益	前期比
10億48百万円	112.3%	5億32百万円	111.9%

■ 2006年2月期 重点実施事項

- ・DWHを活用したターゲットマーケティングの実施
- ・各種保険のご相談に対応する
『金融相談モニター(TV無人機)』の開発

営業収益	前期比	経常利益	前期比
14億円	133.5%	7億2百万円	135.3%

サービサー事業(ACS債権管理回収)

■ 2005年2月期 営業概要

- ・ 公共料金分野での受託先拡大
- ・ 東京、大阪、名古屋に続き、福岡にコンタクトセンター開設

営業収益	前期比	経常利益	前期比
9億78百万円	119.8%	3億5百万円	113.8%

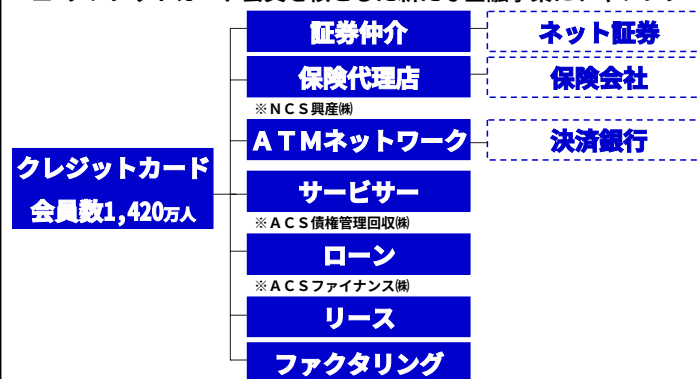
■ 2006年2月期 重点実施事項

- ・ 初期債権の取り扱い開始による、業容の拡大
- ・ 国、地方自治体からの回収業務受託
- ・ バックアップサービシングの拡大

営業収益	前期比	経常利益	前期比
15億円	153.3%	4億58百万円	150.1%

新たな金融事業への取り組み

■ クレジットカード会員を核とした新たな金融事業にチャレンジ



アジアネットワークの拡大



マレーシアでの事業

■ 2005年2月期 営業概要

- ・ クレジットカードライセンスの取得
- ・ 加盟店ネットワークを4,400店に拡大 (1MR:28.32円)

営業収益	前期比	経常利益	前期比
14億47百万円	147.0%	3億28百万円	201.9%

■ 2006年2月期 重点実施事項

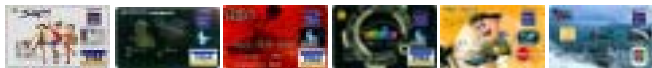
- ・ 現地企業との提携カード発行、カード会員を20万人に拡大
- ・ 営業ネットワークの拡大(13ヶ所から25ヶ所)
- ・ ATMの設置を開始 (1MR:28.32円)

営業収益	前期比	経常利益	前期比
24億36百万円	170.2%	4億7百万円	141.1%

台湾での事業

■ 2005年2月期 営業概要

- ・ハイパーパーチェス加盟店を2,700店舗に拡大
- ・新たに6種類の提携カードを発行（累計14種類）
- ・カード会員数を6万人に拡大



■ 2006年2月期 重点実施事項

- ・高雄（台湾南部）に営業拠点を開設
- ・カード会員を20万人に拡大

中国での事業

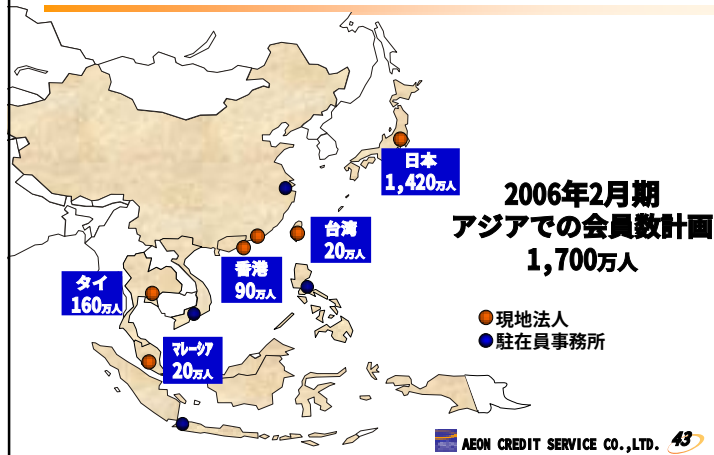
■ 2005年2月期 営業概要

- ・広州に支店を開設
- ・深センでの割賦販売の審査代行業務を拡大
- ・香港現地法人のローン・カード申込受付業務を開始
- ・初期延滞債権に加え、長期延滞債権の架電業務を開始

■ 2006年2月期 重点実施事項

- ・広州に現地法人を設立
- ・マカオに営業拠点を開設

アジアネットワークの拡大



2006年2月期の業績予想

	連結業績	前期比	単独業績	前期比
取扱高	2兆1,380億円	113.4%	1兆9,100億円	112.6%
営業収益	1,385億円	112.8%	1,056億円	111.5%
営業利益	388億円	111.0%	315億円	110.2%
経常利益	389億円	110.9%	322億円	110.1%
当期純利益	206億円	110.3%	186億円	110.0%
1株当たり当期純利益	392円75銭	36円65銭増	354円67銭	32円42銭増

1株当たり年間配当金 80円（中間35円、期末45円）